

テーマ4 「遊び」と「友だち」

【ねらい】

子どもの遊びや友だちとの関わり方で気になることを交流し、子どもの個性や特質を理解した上で、親としてどのように関わるのが子どもの成長にとって大切なのかそのポイントを学ぶ。

【活動の流れ】

- 1 事例を読み、子どもの遊びや友だちとの関わりで気になることをワークシートに書く。
- 2 書いた内容を交流し合う。
- 3 気になることの解決のアイデアをワークシートに書き、発表する。
- 4 話し合いを通して、子どもの人間関係への適切な関わり方のポイントをワークシートに書く。
- 5 ポイントを交流し合う。
- 6 話し合いのまとめをする。

【支援のポイント】

- 遊びや友だちのことについての悩みを素直に出せるような場の雰囲気をつくる。
- 悩みや気になることの解決のアイデアについては、解決まではいかなくても少しでも悩み等がやわらかくアイデアでもいいことを付け加える。
- 子どもはゆとりのある自由な時間を与えられることで、心から遊びを楽しんだり、創意工夫したりできることも押さえる。
- 自然の中で遊ぶことで、驚きや感動を体験し豊かな感性を育むとともに、自然や環境を大事にする心が育まれることを伝える。
- 子どもの友だちに対する見方は、大人とは違った目線で見ていることを知らせ、子どもの交友関係に関わっていくときには、子どもの友だちとコミュニケーションをもちたり、親同士の交流を深めたりすることが大切であることを伝える。
- 楽しみが共有できる友だちとの遊びを通して、創造力や集中力が養われることを知らせる。
- 多くの友だちとは多様な遊びをすることは大切であるが、無理強いをすると子どもはストレスをためる場合があることを知らせる。

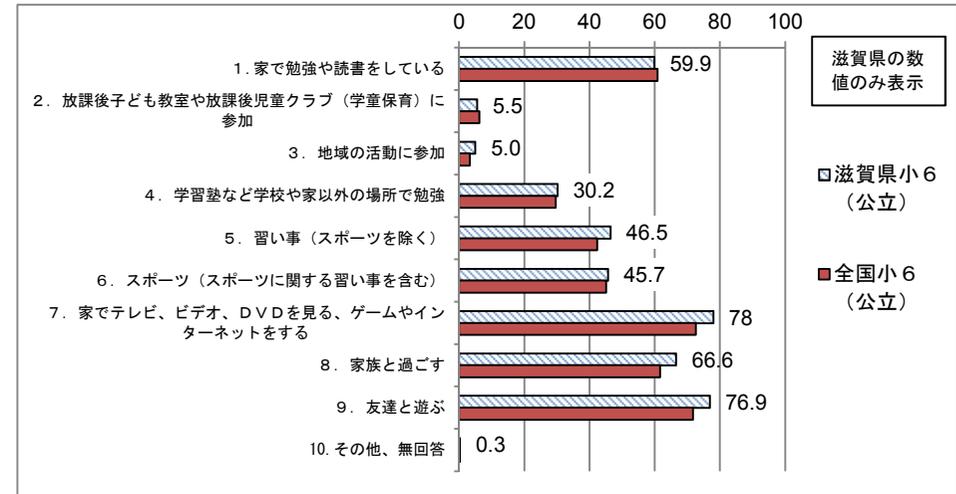
【参考資料】

子どもたちの放課後事情

◇放課後に何をして過ごすことが多いか

対象：小学6年生

%



【平成29年度全国学力・学習状況調査 小学校調査】

対象：小学生をもつ保護者

◇放課後に遊ぶ時間

たくさんある	少しある	ない
33.9%	56.6%	8.9%

◇よく遊ぶ場所をよくする遊び

※複数回答

ゲーム(DS・PSP等)	41.0%
鬼ごっこ	27.1%
サッカー	22.1%
漫画・読書	20.8%
テレビゲーム	17.7%
自分で考えた遊び	12.4%

【子どもの主体的な学びにより人間力を育てるための調査研究事業報告書

(公益財団法人さわやか福祉財団 2011)】